

健康医療部 健康推進室 健康づくり課
 担当者 黒木、門林、山本 内線 6029
 kenkodukuri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

府民の「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」をめざす
 ～【重点】第2期 健康寿命延伸プロジェクト事業費～

令和2年度当初予算額：8,158万3千円

■目的

2025年大阪・関西万博に向け、「健康づくり推進条例」及び「第3次健康増進計画」に基づき、府民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざす。



■ポイント

- ◇生活習慣病の予防等に向けて、生涯を通じた府民の主体的な健康づくりを推進
- ◇公民の連携・協働を深めて“オール大阪”による健康づくり推進体制の形成を図り、「健活10」を軸とした普及啓発と情報発信を強化
- ◇若い世代から働く世代、高齢者までライフステージに応じ、重点方向に沿った取組みを推進
 [重点方向]
 - ▶ 若い世代：『ヘルスリテラシー（*健康情報を活用する力）の習得』
 - ▶ 働く世代：『けんしん（健診・検診）の受診』
 - ▶ 高齢者：『フレイル（*高齢になって心身の活力が落ちた状態）の予防』

■内容（令和2年度）

オール大阪による推進	府民の健康づくり 気運醸成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村や企業等と連携したイベント開催や健康づくり情報誌発行のほか、府政だより等を活用し「健活10」を周知・PR
	健活おおさか 推進府民会議	<ul style="list-style-type: none"> ・「健活おおさか推進府民会議」として、団体間の交流や事例共有を図るイベントを開催し、「健活10」の輪を拡大 ・公民の多様な団体との連携及び見える化の推進を通して、健康づくり活動の支援機会を充実
若い世代	健康キャンパス・ プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携により、健康セミナーの開催や女子学生等を対象とした子宮頸がん検診を実施 ・大学間ネットワークを形成し、健康づくりの取組みを共有
働く世代	中小企業の健康経営	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業を対象に、健康経営の取組み支援（ナビゲーターの派遣）や普及と実践のためのセミナーを実施 ・職場や地域での取組みを表彰する健康づくりアワードを開催
	女性のための 健活セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・主に働く女性を対象に、女性の健康課題（食や乳がん等）をテーマにしたセミナーを開催
	女性のがん検診受診率 向上モデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携し、商業施設等へ検診車を派遣して、気軽に乳がんや子宮頸がんの検診を受診できる機会を創出
高齢者	健康格差の 解決プログラム 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村間の健康格差縮小に向け、「特定健診受診」「保健指導」「フレイル予防」の3分野でプログラムの展開やツールの開発等を行い、市町村支援を実施

■具体的な取組み

オール大阪による推進	府民の健康づくり気運醸成事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●オール大阪で健活 10 を活用し、府民に健活実践を促すとともに、気運の醸成を推進 ●企業や市町村等との連携で、健康イベントを集約した「おおさか健活フェスタ」を秋に実施 <p>*R1 年度：「健活 10 チラシ」約 1 万 5 千部配布、「おおさか健活フェスタ」80 イベントを掲載し約 1 万部発行</p>
	健活おおさか推進府民会議 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な主体の参画によるオール大阪体制で健康づくりを支援する会議を開催し、公民連携を強化 ●府民に健活を働きかけるとともに、参画団体への支援機会充実と連携・協働拡大を推進 <p>*R1 年度：7 月に会議を設置し、9 月にキックオフ会議を日本健康会議との共催で開催（全国最多の約 800 名が来場）</p>
若い世代	健康キャンパス・プロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学が抱える健康課題（食生活・喫煙・歯と口・がん検診等）をテーマにセミナーを開催 ●子宮頸がん検診車を大学に派遣し、女子学生や女性教職員を対象に無料検診を実施 <p>*R1 年度：10 大学で実施（阪大/府立大/関大/近大/摂南大/立命館大/大教大/市立大/関西外大/桃山大）</p>
働く世代	中小企業の健康経営の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●ナビゲーター（健康経営の専門家）派遣に加え、対話型と講座型のセミナーを開催 ●協会けんぽ等と共催で「健康づくりアワード」を開催し、先進的な取組みを行う企業・団体を表彰 <p>*R1 年度：ナビゲーター11 社派遣、健康経営セミナー（5 回）開催、アワードを 16 団体に授与（50 団体から応募）</p>
	女性のための健活セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性のライフスタイルを踏まえたテーマ（食生活／運動／ホルモン等）を設定 ●仕事終わりで参加しやすいように開始時間を設定し、ターミナル駅に近い会場で開催 <p>*R1 年度：グランフロント大阪・あべのハルカスにて 5 回開催、計 665 名が参加</p>
	がん検診受診率向上モデル事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●大型商業施設等に検診車（乳がん、子宮頸がん）を派遣し、受診意欲を喚起する手法を検討 ●健康測定等も開催し、がん検診対象者以外も参加可能なイベントとして実施 <p>*R1 年度：イオンモール日根野・イオンモールりんくう泉南・ららぽーと和泉にて 3 回開催</p>
働く世代／高齢者	健康格差の解決プログラム促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●保健指導やフレイル予防のためのプログラムの研修や支援ツール開発等を実施 ●特定健診の効果的な受診勧奨手法を調査 <p>*R1 年度：特定健診未受診者に対し歯科診療所から受診勧奨を実施。フレイル測定と保健指導を実施（摂津市コミュニティプラザ等）</p>

健康医療部 健康推進室 国民健康保険課
 担当者 小山・上田 内線2406
 メールアドレス kokuhoh@gbox.pref.osaka.lg.jp

おおさか健活マイレージ アスマイル

～【重点】健康づくり支援プラットフォーム整備等事業費～

令和2年度当初予算額：5億7,716万2千円

■目的

- 個人インセンティブを活用した府民の継続的かつ自発的な健康づくり促進
- 特定健診や歩数等のデータ蓄積・分析体制の整備

■内容

1 健康づくり活動への動機づけ

- ◆府民に歩数や健康イベント参加等でポイント付与 ⇒電子マネー等が**抽選**で当たる！
- ◆市町村国保の被保険者には特定健診受診によりポイント付与 ⇒電子マネー等に**交換**！

2 健康情報の見える化

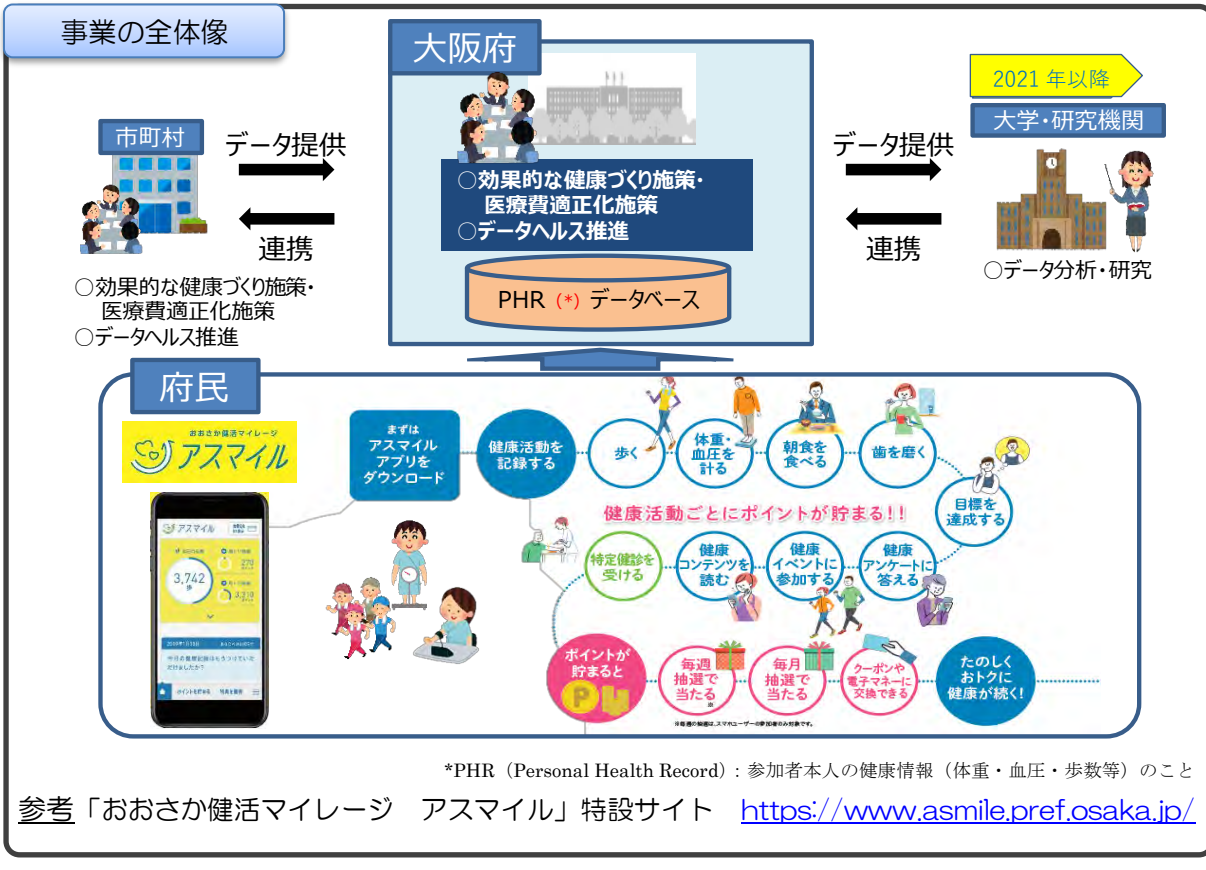
- ◆マイページで個人が健康情報を把握できるようにし、自発的な健康管理を意識付け
- ◆健康イベント情報を発信

3 蓄積されたデータの分析

- ◆将来的に、府民への効果的な健康づくり施策と医療費適正化施策の実施につなげる

＜スケジュール＞

- 2019年 1月 モデルスタート（大阪市、門真市、岬町）
- 10月 府内全市町村で本格実施
- 2021年度以降 データ分析開始



■アスマイルの特色

① 全国最大級の健康マイレージ事業

- ・ポイント還元 7.7 億円（4 年間）
- ・参加目標 30 万人規模（全市町村）

ICT 活用のマイルージでは全国最大級

② 健康活動データを見える化

- ・特定健診データと個人の健康活動を連携

都道府県では全国初

③ 毎月・毎週抽選を実施

- ・楽しみながら続ける機会をより多く提供

抽選回数日本一！

④ 特典に、複数の電子マネーを用意

- ・お持ちのカードに合わせて、チャージできる電子マネー



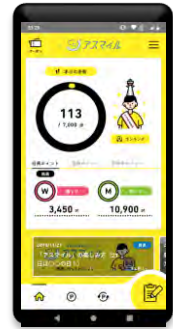
■ポイント対象項目

① 参加者全員

- ・日々の健康活動（ログイン、所定の歩数を歩く、健康記録をつける、コラムを読むなど）に対して、府民ポイント【抽選ポイント】（50～1000 ポイント）を付与
- ・毎週、毎月の抽選に当選することで、コーヒーや電子マネー等に交換可能

② 市町村国民健康保険加入者限定

- ・年 1 回の特定健診を受けると、国保ポイント【交換ポイント】を付与（初回のみ 3000 ポイント、2 年目以降 1000 ポイント）
- ・ポイント数に応じた電子マネー等に交換可能



■ポイントの区分

～3階構造～市町村や医療保険者も参画可能なシステム

3階	市町村独自項目	市町村ごとの抽選・交換ポイント（独自に設定可）【オプション】	
2階	保険者独自項目	市町村国保	他の医療保険者（共済組合・健保組合等）
		特定健診受診による交換ポイント	保険者ごとの抽選・交換ポイント（独自に設定可）【オプション】
1階	基本項目（府民）	健康活動による抽選ポイント	

※本事業では、太線部分を実施

■令和 2 年度 of 取組み

① 参加者数 20 万人達成に向けた更なる取組みの推進

- ・公民連携による魅力あるコンテンツの提供（情報発信、イベント、クーポン提供、等）
- ・市町村国保被保険者の更なる加入促進（特定健診受診勧奨とのタイアップ、等）

② 2 階部分（国保以外の医療保険者）への参画促進

- ・府職員が加入する地方職員共済組合の参画を契機として、他の医療保険者等へ参画を促進

③ 集積できた健康データの活用方策等を検討するための有識者会議の開催

健康医療部 健康推進室 国民健康保険課
担当者 小山・谷 内線2406
メールアドレス kokuho@gbox.pref.osaka.lg.jp

市町村保健事業への支援強化

～【重点】国民健康保険ヘルスアップ支援事業費～

令和2年度 当初予算額：1,740万5千円

■目的

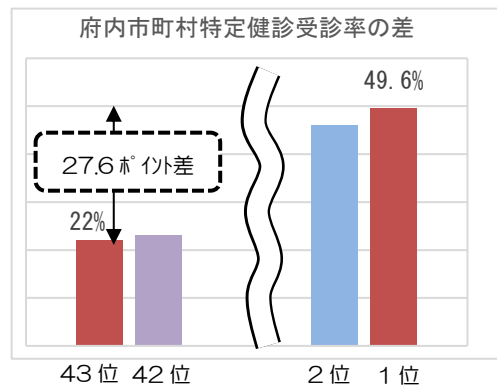
健康づくり・医療費適正化に向け、市町村保健事業に対する支援を強化する。

※保健事業：特定健診・特定保健指導、健康相談など、被保険者に対する健康の保持増進を目的とした事業

■背景

- ・大阪府の市町村国保の健康指標は全国でも低位
特定健診受診率：42位 特定保健指導利用率：42位
- ・健康指標は府内市町村間でも大きな差
- ・平成30年度からの国保制度改革により、都道府県が国保運営に中心的役割を担う

健康づくり・医療費適正化に向けて、
市町村国保のさらなる取組の強化が不可欠



■内容

